



若葉の中をさわやかに風が吹き渡る5月、植物や動物たちそして人間も一年の中で最も生命を感じる季節だ。もちろんミツバチも同じで最低気温が14度以上になると朝陽と共に活動を開始する。

女王蜂も蜜や花粉が豊富にあることを感じて毎日2000個の卵を産み、卵が産まれてから3週間で羽化するミツバチの群れはこの季節に急成長する。そしてこの時期、銀座のミツバチ達はマロニエ通りのマロニエや霞が関の栃の木、そして皇居周辺のユリノキに飛んでいく。

働くミツバチは1日に20往復するそうだ。ミツバチは「8の字ダンス」という

ミツバチ目線で緑の街を④



まったり気分が味わえる 屋上庭園の草花も蜜源に

NPO法人銀座ミツバチプロジェクト 最高顧問 高安和夫

伝達方法で仲間に蜜や花粉のありかを伝え、メッセージを受け取った群れのミツバチはダンスの示す方向に飛んで行く。ところが中にはこのメッセージを受け取らずに、自分で新しい蜜源をもとめて飛んで行く探索蜂もいる。こうしたミツバチ達が時々、屋上庭園にやってくる。時に樹木の花の流蜜が切れたときは屋上庭園の草花も貴重な蜜源になるのだ。

かつてデパートの屋上は遊園地であった。観覧車や豆汽車、メリーゴーランドやゴーカート、子ども時代にデパートの屋上で過ごした楽しい時間が懐かしい。その屋上が今では都会の喧騒の中で身近に自然を感じることでできる憩いの場所になっている。55mの高さ制限(銀座ルール)が条例で決められ、13階以上の建物が建てられない銀座では、デパートの屋上に行くに緑の間からの木漏れ日やビルに遮られない青空が楽しめる。

特におすすめは2017年4月、銀座6丁目オープンした銀座シックスだ。多彩なショップやレストラン、能楽堂やオフィスフロアから成る13階の建物で、屋上には約4000㎡の空間が広がる。開館時間内なら誰でも訪れることが出来る。芝生広場の先には緑地が広がり、4月から5月は、桜やツツジのお花見や木々の新緑が楽しめる、外国からの観光客も含め子供からお年寄りまで、まったりとした時間を過ごしている。

そして年間を通してさまざまな草花を楽しめるのが銀座三越9階「銀座テラス」の庭園だ。テラスには

だれでも自由に使えるウッドテーブルやチェアが用意され、館内で購入した物ならテラスで食べることが出来る。目の前の芝生広場では小さい子供たちが走り回り、銀座の屋上でピクニック気分が楽しめる。その奥は屋上農園「テラスファーム」へと続く。ファームでは地元の小学生の農業体験として落花生・サツマイモ栽培やローズマリーなどハーブが植えられ、ミツバチ達も花をめぐってやって来る。

また、意外と知られていないのが歌舞伎座の屋上庭園で、歌舞伎のチケットがなくても自由に出入りできる。散策道の周囲には様々な植栽が植えられており、和服姿のご婦人方とすれ違うと本物の日本庭園を歩いている感覚にとられる。

ドローンを飛ばして上空から銀座の街を見ると建物と道路しかない。しかしよく見ると屋上の木々や草花、さらによく見ると若葉がしげり花が咲く壁面を見つけることが出来る。ヒトもミツバチも安心して暮らせる緑の街に遊びに行こう。

事業紹介

NPO法人銀座ミツバチプロジェクトは、2006年3月から銀座のビルの屋上でミツバチ飼育を開始。ホテル、レストラン、百貨店など銀座の老舗と連携したハチミツ商品づくりや屋上緑化、地域の生産者との交流事業を通して街の活性化に貢献。平成22年6月環境大臣表彰。平成24年4月農林水産大臣より「食と地位の『絆』づくり」選定を受ける。